

BRAND NEW BRAND

RANDOLPH



大人がそそられる本物のミリタリースペック。

アメリカ合衆国の東北部に位置するマサチューセッツ州ボストン。その近郊の小さな工業地帯でアイウェアブランド『ランドルフ』は1972年に誕生しました。創業者はジャン・ヴァスケビッチとスタンリー・ザレスキーの二人組。ジャンはアイウェアメーカー出身で眼鏡の構造を熟知した専門家であり、一方のスタンリーはフライトナビゲーターとして、パイロットのサポートをしながら大空を飛び回り、サングラスの重要性を実感していました。元々、二人が最初に立ち上げたのは精巧な工作機械の設計と製造を手掛ける会社でしたが、そのノウハウと経験を生かせば「より優れたサングラスを世に送り出せる」そんな夢を抱き、会社を方向転換、ブランド誕生へとこぎつけたのです。創業当時、アメリカ合衆国国防

総省では、強烈な紫外線に起因する眼精疲労を軽減できるパイロットグラスの導入が急がれており、ランドルフが軍規格であるミルスペックを満たすモデルを作り上げると、厳しい検査の末にようやく採用されたのでした。通常よりも軍規格は品質要求が高く、眼鏡のウィークポイントである接合部は180度に曲げても外れないほど強固に一体化され、可動箇所であるヒンジ部分は長年の使用でもガタつきがでないよう、精巧に作られています。その後、NASAへも納入されると更に高評価を獲得。近年は日本、ヨーロッパでの展開を開始し、数少ないMade in USA製品としての存在感を示すようになっていきます。(フレーム価格 ¥22,680~)



bois²



環境に優しいフランス流エコライフ。

フランスのアイウェアブランドと聞くと、皆さんはどのような眼鏡をイメージされるでしょうか？エレガントなデザインや、アーティストックなフォルム…。そのどれにも当てはまりません。欧州文化圏に身を置きながら、アメリカ西海岸のサーファカルチャーに影響を受けたことで、これまでのアイウェアブランドには無かった新しい思想を手に入れたのです。2009年に彼らは木製のサングラスを発表しました。例えば、サングラスが破損して修復不可能になったり、気づかないうちに紛失してしまった場合、それはいつか産業廃棄物として処理される運命を辿ります。そこまでを見越して彼らは自然に分解できる木を素材に選び、トレンドを意識した小ぶりでクラシカルなアイウェアを世に送り出したのです。しかし、木で

あるがゆえにフィッティングができないなどの課題も残りました。そして今回、ポアポアという名の新たなコレクションを展開するうえで選ばれたのがバイオアセテートなのです。プラスチックフレームに使われるアセテートはコットンに化学物質を加えて製造されるのですが、バイオアセテートはその化学物質を含めた全てを地中に帰すことのできるもので自然にも優しく、さらにウッドパウダーを混ぜる事でオリジナリティにある風合いを出すことにも成功しました。エコロジカルでありながら自由度の高い素材を手に入れた事で、彼らのクリエイションは大きな広がりを見せることでしょう。(フレーム価格 ¥27,000~)

